

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら神戸湊川教室		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 1日		R7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	R7年 11月 1日		7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	7年 12月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	色々な種類のレクリエーションを行っている。	どの曜日に来ても5領域すべての領域のレクリエーションに参加できるよう、予定表の作り方を工夫しております。	定期的に新しいレクリエーションの内容を盛り込めるよう、日ごろから情報収集を行い、職員間の意見交換も密に行ってまいります。
2	児童発達支援と放課後等デイサービスの交流がある。	土日祝日や長期休みなど、児童発達支援と放課後等デイサービスの利用時間が重なっている時には、状況により合同で活動する時間を設けております。	上級生が下級生のお世話をしたり勉強を教えるなど、職員が見守りながら積極的な関わりが持てるよう工夫してまいります。
3	日ごろから職員同士のコミュニケーションが取れている。	些細なことでも気になることがあれば朝礼、終礼時に共有し、それ以外の時間でもこまめにコミュニケーションをとっております。	引き続き、日ごろからのコミュニケーションを密に行ってまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基本的な人員は配置し確保しているものの、児童の人数に対し十分な人員確保が難しい日もある。	児童の人数が多い日には職員を多く配置するようにしていますが、シフト勤務制のため、どうしても人数が少なくなってしまう日があります。	職員の人数が少ない時には児童発達支援と放課後等デイサービス合同で活動し、大人の目が多くなるように工夫してまいります。可能であれば他事業所からの応援も行ってまいります。
2	外部機関との連携が弱い。	担当者会議への出席はできているものの、保育所訪問、学校訪問、外部研修の参加などはあまりできておりません。	時間や人数が限られている中でも外部機関との連携を取っていけるよう、送迎時の情報共有や、必要に応じて保育所訪問、学校訪問を行えるような体制づくりを行ってまいります。
3			